

平成30年度

施策評価表(平成29年度の実績評価)

記入年月日

平成 30 年 5 月 21 日

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	生活環境課	主管課長名	神野 広幸
5-8	施策名	生活環境の保全	関係課	ヤマザクラ課、農林課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	生活環境(水質・大気・土壌)が保全されている。	・市民 ・市内の生活環境(水質・大気・土壌)	①桜川市人口	人	見込値	41,278	41,008	40,738	40,467	40,197
実績値					41,278					
②市域面積			km ²	見込値	180.06	180.06	181.06	182.06	183.06	
				実績値	181.06					
				見込値						
				実績値						
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
		①省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
				実績値	69.9					
			②不法投棄件数	件	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	61				
			③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地藏橋」地点)	mg/L	目標値	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
	実績値				0.9					
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
	成果指標設定の考え方	○水質・大気が保全される(環境問題への理解を深め環境保全への行動を実践すること)に対する成果指標は、市民アンケートにおいて、①「省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合」や②「不法投棄件数」、③「桜川の水質」で把握する。								
	成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合は、市民アンケートより求める。③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地藏橋」地点)は、霞ヶ浦流入河川水質調査実績(委託により毎年2回調査を実施)より求める。								

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がすべて向上した	<input type="checkbox"/> 向上した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 低下した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がすべて低下した	
背景・要因	<p>・省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合は28年度72.1%、29年度69.9%であった。前年度と比べ、2.2ポイント低下した。</p> <p>・不法投棄事件数は、28年度59件、29年度61件で、前年度と比較すると、今年度は多少増加している。地理的な特徴として、山間部や閑散部など日常死角となる場所が多いこと、また、不法投棄される時間帯の多くが深夜から早朝であるために、巡回監視にも限界がある。</p> <p>・桜川の水質(BOD)については、28年度は1.4mg/l、29年度は0.9mg/lであり、前年度と比較すると水質は良くなっている。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 目標値を上回ったものが多かった	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回ったものが多かった	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<p>①省エネなど地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合は、29年度の目標値80.0%に対し69.9%と10.1ポイント下回った。</p> <p>②不法投棄件数は29年度目標50件に対し61件で、平成28年度より2件多くなり、目標値を下回った。</p> <p>③桜川の水質(BOD)は、29年度1.1mg/lに対し0.9mg/lであり、0.2mg/l低くなっており、目標値を上回った。(※水質(BOD)の水質基準は2.0mg/l以下である)</p>		

3. 施策の成果実績に対しての総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対しての総括	今後の課題・方針
<p>・施策の成果向上に貢献した事務事業は、「環境美化運動事業」「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦事業」「廃棄物不法投棄監視事業」であった。</p> <p>・環境美化運動事業については、7,559人の市民が参加、環境美化活動を実施し5,367kgのごみを回収した。</p> <p>・霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦事業については、7,318人の市民が参加、清掃活動を実施し6,200kgのごみを回収した。</p> <p>・廃棄物不法投棄監視事業については、不法投棄監視員、市民からの通報及びパトロールを行い、迅速に撤去作業を行った。</p>	<p>・ごみの散乱や不法投棄が問題視されており、市をあげての環境美化活動や意識啓発が必要である。</p> <p>・不法投棄及び水質の監視強化に努めるとともに、悪臭や野焼き、犬のフン害など公害苦情に対する指導強化や、マナーアップの意識啓発を図る。</p>